

# 令和3年度 決算

問い合わせ先 総務課 財政係 ☎23-3900 ㊟23-3920

## 財政用語解説

### 歳入

**市税**…市民税、固定資産税など  
**繰入金**…基金を取り崩したお金など  
**地方交付税**…一定の行政サービスを確保するため、人口や税収に応じて国から交付されるお金  
**国庫・県支出金**…国や県から使用目的を特定して交付されるお金  
**市債**…施設建設や道路整備など多額の費用が掛かる場合に、国や銀行などから借りるお金

### 歳出

**総務費**…戸籍管理や選挙の執行、統計などの経費  
**民生費**…障がい者や高齢者、子どもの生活支援、生活保護などの経費  
**衛生費**…ごみ処理やし尿処理、健康診断、保健指導などの経費  
**農林水産業費**…農林水産業の振興などの経費  
**商工費**…商工業や観光の振興などの経費  
**土木費**…道路や公園、市営住宅などを整備する経費  
**消防費**…消防活動などの経費  
**教育費**…学校教育などの経費  
**公債費**…借入金の返済に充てられる費用

## 特別会計

特別会計とは、特定の目的のために設置し、一般会計とは区分して経理する会計のことです。9つの特別会計があり、それぞれ保険料や使用料などの特定の収入で事業を行っています。

特別会計名	収入額A	支出額B	差引額A-B
施設貸付事業	10億5,563万円	10億50万円	5,513万円
国民健康保険事業	74億5,303万円	74億4,811万円	492万円
国民健康保険伊吹診療所	5,320万円	5,017万円	303万円
後期高齢者医療事業	9億7,396万円	9億7,044万円	352万円
介護保険事業	59億5,323万円	55億8,760万円	3億6,563万円
介護予防サービス事業	3,201万円	3,201万円	0円
航路事業	1億388万円	1億388万円	0円
栗井財産区	478万円	76万円	402万円
栗井坂瀬山林	1,616万円	6万円	1,610万円

## 公営企業会計

地方公営企業法が適用される事業を一般会計と区分して経理する会計のことで、下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業）が該当します。

公営企業会計名	区分	決算額	差引額A-B
下水道事業	収益的収支	収入額A	12億2,497万円
		支出額B	12億2,758万円
	資本的収支	収入額A	8億8,310万円
		支出額B	12億9,346万円

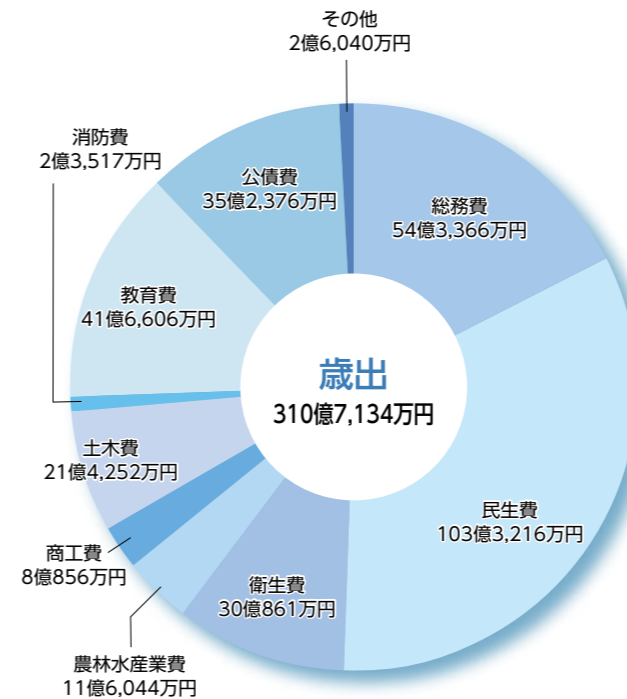
## 資金不足比率

各公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する割合をみる指標です。令和3年度決算における比率は、いずれも基準値を下回っています。

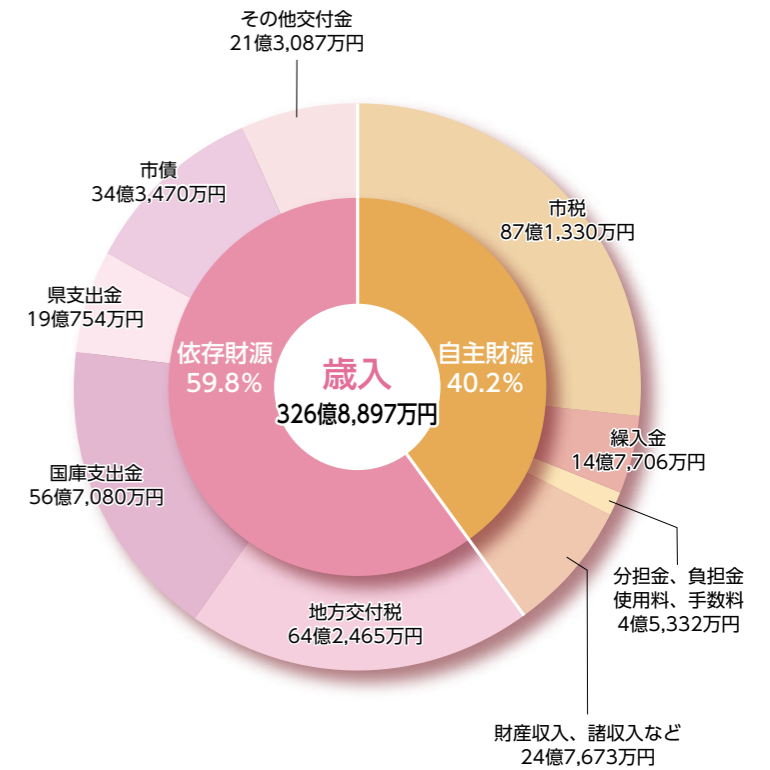
(単位：%)

特別会計の名称	令和3年度	経営健全化基準
航路事業	-	20.0
下水道事業	-	

## 一般会計歳出の内訳



## 一般会計歳入の内訳



決算については市ホームページで、決算書は、市役所総合案内所や各支所で閲覧できます。



令和3年度の一般会計歳入決算額は、326億8897万円（前年比6.7%減）、歳出決算額は、310億7134万円（前年比8.1%減）でした。歳入歳出の差引額は16億1763万円、翌年度へ繰り越した事業の財源を除いた実質収支は、14億7951万円の黒字でした。歳入では、その2割以上を占める市税が前年度と比較して3億1134万円減少しました。また、地方交付税は、6億4958万円増加しました。

一方、市債は、豊浜小学校改築事業、臨時財政対策債などに伴い、11億2973万円増加しました。

歳出では、総務費で特別定額給付金事業終了により前年度比52億1307万円の減少、民生費では新型コロナウイルス感染症対策のための子育て世帯、住民税非課税世帯への給付金事業などにより前年度比で13億3761万円増加しました。今後も健全な財政運営を維持するため、限られた財源の効率的な運用と、財源の確保に努めていきます。

## 市民課窓口でのお支払いにキャッシュレス払いが利用できます

10月から、市民課窓口での支払いに現金以外の決済サービスが利用できるようになりました。現金でのお支払いには新型コロナウイルス感染症対策も考慮し、自動釣銭機を導入しました。



- 対象 市民課窓口での全ての支払い（住民票や各種証明書の発行手数料）
- 問い合わせ先 市民課 市民係 ☎23-3924

### 電子マネー



### クレジットカード



### QRコード決済



※11月1日から利用できる予定です。  
auPAY以外の種類は現在準備中です。

## 新「道の駅」基本構想策定に着手します

地域のにぎわいの創出、地元産業の活性化につながる中四国最大級の新「道の駅」の基本構想策定に着手し、基本理念、建設候補地および建設スケジュールなどを令和5年3月までに策定します。

### 〈新「道の駅」基本目標(案)〉

- ・全ての世代の人が1日過ごせる拠点
- ・地域の農畜水産物や特産品の地域経済活性化拠点
- ・四国の中心に位置する地理的要因を生かした広域的な交流人口拡大拠点
- ・被災時に広域的な物資供給などを行う復旧・復興支援活動拠点

### 先進地を視察しました

8月16日から18日まで、道の駅むなかたをはじめ、福岡・長崎県の道の駅6か所を視察し、各拠点の市長を表敬訪問しました。主に開業後10年以上経過し、継続して地域産業の活性化に寄与している施設を視察し、集客の持続性や収益の確保、管理運営の問題点などについて意見交換しました。



中四国最大級の道の駅建設、JR観音寺駅の橋上化、三豊工業高等学校跡地への看護系大学開校に伴う周辺整備を「観音寺市3大プロジェクト」として準備を進めています。



佐伯市長の先進地視察研修の様子

## 健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和3年度決算における観音寺市の財政状況を判断する指標で、いずれも基準値を下回っています。

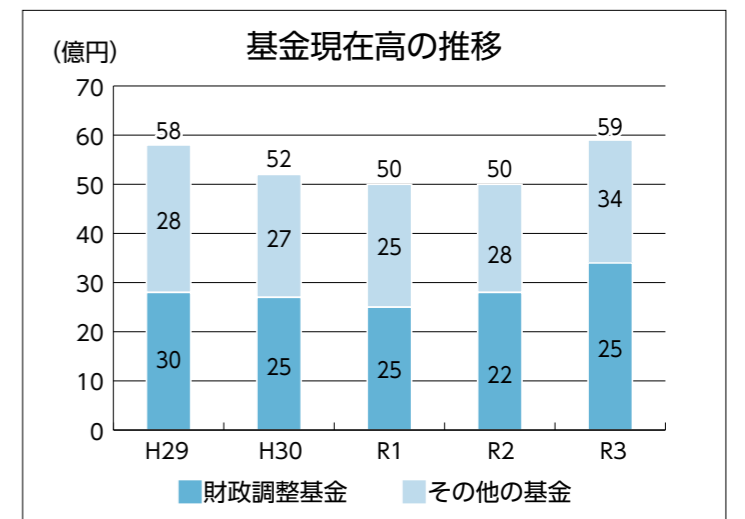
(単位：%)

健全化判断比率	令和3年度	早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率 (一般会計等の赤字の程度をみる指標)	—	12.67	20.00
連結実質赤字比率 (一般会計等及び公営企業会計を含めた市全体の赤字の程度をみる指標)	—	17.67	30.00
実質公債費比率 (市全体及び一部事務組合を含めた公債費(借入金の支払い)の標準財政規模に対する割合をみる指標)	9.6	25.0	35.0
将来負担比率 (市全体、一部事務組合、公社・出資法人などを含めた将来的な負担の標準財政規模に対する割合をみる指標)	58.1	350.0	

## 基金現在高(一般会計)

基金は、家計における貯金です。基金には、年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金や、特定の目的のために積み立てている特定目的基金などがあります。

令和3年度末の基金現在高は約59億円で、前年度末より9億円増加しました。主な増加要因として、がんばれ観音寺応援基金が4億円増加したことが挙げられます。



## 地方債現在高(一般会計)

令和3年度末の地方債現在高は約351億円で、前年度より約2億円増加しています。

### 合併特例債

合併後の市町村の一体性の確立や均衡ある発展などを目的とした事業を実施するために発行する地方債です。元利償還額の70%が数年後の地方交付税に算入されます。

### 臨時財政対策債

国から交付される地方交付税の不足分を補うために、地方公共団体が発行する地方債です。償還額の全額が数年後の地方交付税に算入されます。

